

2025年8月吉日

DCMホールディングス株式会社

整理収納アドバイザー清水幸子さんの「防災収納」講座**災害発生時の状況を想定した0次から2次の段階的備え方**

～ 2025年8月30日（土）防災収納講座&店内防災イベント開催 ～

DCMホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼CEO：石黒靖規）のグループ会社であるDCM株式会社（代表取締役社長：石黒靖規、以下DCM）の体験型店舗「DCM DIY place」では、9月1日（月）の防災の日に向けて、**8月30日（土）整理収納アドバイザーの清水幸子さんをお迎えし「防災収納」講座を開催**いたします。災害発生時の状況を想定した0次から2次の段階的な備え方から、管理収納術までレクチャーいただきます。店内では同時に体験型防災イベントを8月30日（土）～9月1日（月）まで実施しております。

■整理収納アドバイザー清水幸子さんに教わる「防災収納術」

「最近、地震や台風が多くて心配で準備はしているけど、実際何がどのくらい必要なかわからない」、「市販の防災リュックを買ってあるけど、タンスの奥にしまえばなし」など心当たりのある方も多いのではないのでしょうか。「防災」と聞くと、保存水や携帯トイレ、防災食などをどんどん買い足してしまい、気がつけば期限切れになってしまっていたり、いざという時に必要なものが探せない状態になってしまっていたり、といったお悩みをよく伺います。今回の講座では、「0次～2次の備え」という基本的な考え方から、賞味期限の管理、普段から食べ慣れたものを少し多めに買い置きするローリングストックの方法まで、無駄のない収納術と合わせてご紹介します。



日時：8月30日（土）10:30～12:00

場所：DCM DIY place（東京都渋谷区恵比寿4丁目20-7 ガーデンプレイス センタープラザ 1F）

予約：<https://dcm-diyclub.com/lesson/cls/51>**講師：整理収納アドバイザー：清水幸子（しみず さちこ）**

1979年生まれ。整理収納アドバイザー1級、ファイリングデザイナー1級。史上最年少整理収納アドバイザーである清水麻帆の母。元銀行員の経験を活かした住まいとオフィスの整理収納を提案。企業のセミナーや講演、一般家庭の整理収納を行う収納のプロ。Instagramで整理収納アイデアを発信。

Instagram: @oheyasukkiri (<https://www.instagram.com/oheyasukkiri/>)

■ 0次～2次の備え

防災には、災害発生時の状況に応じて、0次から2次まで準備するもの、準備する場所が異なります。防災リュックは玄関や寝室に、自宅の安全が確認できた後の備蓄品は、パントリー等にストックする等、用途によって用意するものや収納場所が変わります。これはいつどんな状況で使用するものなのか考えながら、準備しましょう。



0次の備え：いつもの携帯品

日常的に使用する外出用バッグの中で、いざという時に自宅や避難所など安全な場所へ移動するために、常に携帯しておきたい備え。

- ・飲料
- ・携帯食（飴）
- ・常備薬
- ・絆創膏など救急セット
- ・連絡先カード など



1次の備え：非常持ち出し品

被災した1日目に、安全なところへ逃げる時にこれだけは持っていきたいという最低限の備え。家庭や勤務先など、1日の多くを過ごす場所、または玄関や寝室に用意。

- ・軍手
- ・小銭
- ・除菌ティッシュ
- ・懐中電灯
- ・充電電池
- ・非常トイレ
- ・歯磨きセット
- ・携帯スリッパ
- ・メガネ/コンタクトレンズ



整理収納POINT
グッズを買ったら開封して防災リュックへ。体積を減らすコツ！



2次の備え：安心ストック

非常時にライフラインが途絶えた時も自給自足するための備え。電気、ガスなどが止まった家で3日程度生活することを想定し、飲料水や非常食などの備えを。収納棚は家族に必要な分量に合わせてDIYも可能！

- ・飲料水
- ・レトルト食品
- ・ビスケットなど
- 日持ちするお菓子 など



整理収納POINT
底や裏面の見づらい消費期限は丸シールに書いて一目で見やすく。

参考：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターの「減災グッズチェックリスト」
https://www.dri.ne.jp/wp/wp-content/uploads/bousai_goods.pdf

■ 防災収納術

防災用のストック品が何ほどのくらいあるのか把握できていないと、買い足しも難しいですね。使用頻度によって順番に、1番下の段に5年保存の備蓄水、防災食、2段目に日常的に使用しながらストックする水、カップラーメン、缶詰。1番上に使用頻度の高い紙コップやビニール袋、割りばし等を入れておくと、普段の生活でどのくらい何のストックがあるのか一目瞭然です。キッチンの収納棚を使用する際も一緒です。使用頻度で順番に収納しましょう。



- ← 災害時にも使用できる紙皿、紙コップ、割りばし
- ← 缶詰や水など、普段の生活で使用するストック品（なくなったら補充）
- ← 使用頻度が少ない備蓄水、防災食

DCM体験型防災イベント概要

日時：2025年8月30日(土)、31日(日)、9月1日(月)

場所：DCM DIY place

(東京都渋谷区恵比寿4丁目20番7号 恵比寿ガーデンプレイスセンタープラザ1F)

内容：体験&展示

- ・非常食食べ比べ体験
- ・非常用トイレ実物展示
- ・ポータブル電源展示・体験
- ・転倒防止器具展示・体験
- ・地域防災・自宅避難情報展示
- ・ペット防災情報展示
- ・飛散防止フィルム展示

■DCM DIY placeとは

「DIYによる暮らし快適化」のお手伝いをする店舗です。日々の暮らしを快適にするツールとアイデアを取り揃え、「やってみたら自分でできた！」を応援する、ホスピタリティにあふれた体験型店舗です。

店舗名：DCM DIY place

住所：東京都渋谷区恵比寿4丁目20番7号 恵比寿ガーデンプレイスセンタープラザ1F

営業時間：10:00～20:00

定休日：1月1日～3日、法定点検等別途指定する日

HP: <https://www.dcm-hc.co.jp/dcm-diy-place/>

Instagram: [@dcmdiyplace_official](https://www.instagram.com/dcmdiyplace_official)

DCMホールディングス株式会社とは

全国でホームセンター事業、EC事業等を展開しております。売上高5,361億円、全国に約840店舗・約2.4万人の従業員を擁しています(2025年2月末現在)。

グループ共通の経営理念「Do Create Mystyle 暮らしの夢をカタチに」のもと、お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、変化に柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する、なくてはならない企業のカチを実現します。

<本件に関する問合せ先>

DCM DIY place広報事務局(株式会社K&L内)担当：宮城・伊藤・加藤

TEL：080-5427-9134(加藤携帯)、03-5211-8131 E-mail: dcm-pr@klt.co.jp





返信先 DCM DIY place 広報事務局

MAIL : dcm-pr@klt.co.jp

FAX : 03-5211-8134

大変恐縮ですが、当返信状に必要事項をご記入いただき、

取材日前日正午までに広報事務局へご返信くださいますようお願いいたします。

ご返信はメール dcm-pr@klt.co.jp でも受け付けております。

DCM DIY place 体験型防災イベント ご取材
8月30日(土) / 8月31日(日) / 9月1日(月)

※ご希望の日に○をお願いいたします。

ご希望時間： _____

※整理収納アドバイザー清水幸子さんの防災収納講座は 8月30日(土)10:30～12:00

貴社名： _____

媒体名/ご部署： _____

お名前： _____ 他 _____ 名

カメラ： 有り (スチール/ムービー) / なし

ご連絡先： tel _____ 当日のご連絡先

メールアドレス： _____

<本件に関する問合せ先> DCM DIY place 広報事務局 担当：宮城・加藤・伊藤
TEL : 03-5211-8131(加藤携帯 : 080-5427-9134) FAX :03-5211-8134
E-mail: dcm-pr@klt.co.jp